

こども・子育て政策

目指す社会像と
基本理念



こども・子育て政策

目指す社会像

3つの 基本理念

1 若い世代の所得を増やす

2 社会全体の構造・意識を変える

3 全ての子育て世帯を
切れ目なく支援する

1

目指す社会像
3つの基本理念

若い世代の
所得を増やす



「賃上げ」

- ✔ 男女ともに働きやすい環境
- ✔ 希望する非正規の方の正規化
- ✔ 三位一体の労働市場改革

1

目指す社会像
3つの基本理念

若い世代の
所得を増やす



「106万円の壁」
「130万円の壁」の見直し

- ✔ 短時間労働者への被用者保険の適用拡大
- ✔ 最低賃金の引上げ
- ✔ 手取りの逆転を生じさせない取組の支援

1

目指す社会像
3つの基本理念

若い世代の
所得を増やす



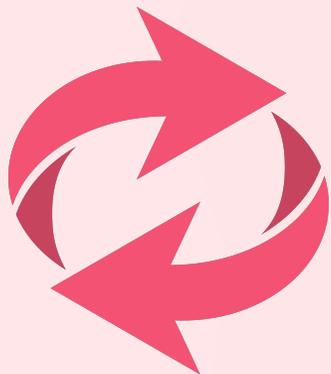
子育て世帯に対する 経済的支援の強化

- ✓ 児童手当の拡充
- ✓ 高等教育費の負担軽減
- ✓ 子育て世帯への住居支援 など

2

目指す社会像
3つの基本理念

社会全体の 構造・意識を 変える



子連れは電車内で
肩身が狭い

公園の遊び声が近所迷惑
と言われないか心配

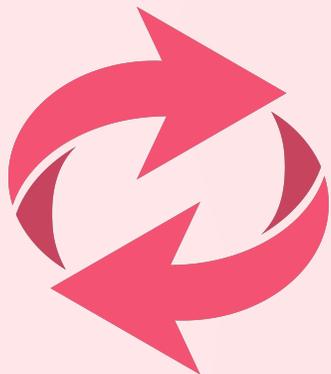
こどもファースト 社会の実現

- ✓ 住民参加の子育て支援
- ✓ 『こどもファースト・トラック』



2 目指す社会像 3つの基本理念

社会全体の 構造・意識を 変える



会社に育休制度はあるが、
実際には取りづらい

職場を変える

- ✓ 男性育休取得率の政府目標を引上げ
2025年に50%、2030年に85%
- ✓ 育休を促進する中小企業を支援
- ✓ 国家公務員は2025年に85%以上

2

目指す社会像
3つの基本理念

社会全体の 構造・意識を 変える



育休とキャリア形成
が両立しない

出産を契機に仕事をやめた

育児休業をあらゆる
働き方に対応した
自由度の高い制度へ

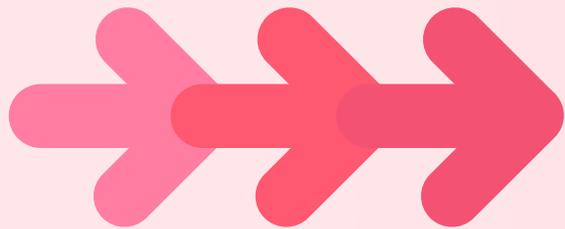


- ✔ 時短勤務にも育休給付を創設
- ✔ 産後期間に男女で育休取得すると給付率を手取り10割に
- ✔ 育休給付のない非正規・フリーランス・自営業者の方々にも経済的支援を創設

3

目指す社会像
3つの基本理念

全ての子育て
世帯を切れ目なく
支援する



親が働いていても、
家にも
全ての子育て家庭を支援



- ✔ 幼児教育・保育サービスの強化
- ✔ 妊娠・出産・0～2歳支援を強化した伴走型支援
- ✔ 貧困、障害・医療ケアが必要な家庭、ひとり親家庭などに一層の支援